

# 被災商店街の復興を

AMDAが  
フォーラム  
東北の店主交流

## 東日本大震災

東日本大震災後の被災地で営業する仮設商店街の店主らと復興への

取り組みや課題を話し合う「被災地間相互交流公開フォーラム」が2日、北区奉還町2の岡山国際交流センタ

ーで開かれた。国際医療救援団体・AMDA（本部・北区）主催で、東北3県などから約60人が参加した。

AMDAは、仮設商店街が地元食材で作る料理を競い合う「復興グルメF-1大会」を昨年1月から開催する

などの支援に取り組んでいる。フォーラムで、宮城県石巻市雄勝地区の出席者は、カキやムール貝などの魚介類を使った「雄勝湾カレー」を紹介。「県外から食べに来てくれる人もいてありがたい。今後は県外に商品売り込む戦略を立てたい」と話した。一方、岩手県陸前高田市の担当者は「土盛りやかさ上げが終わる

来年には商店街を新設する予定だが、資金面などの問題を抱え、市の計画に住民が追いつけない」と語った。AMDAの小池彰和ボランティアセンター長は「私たちは、現地の人の意見や希望をくみ上げて行動する。復興に向けて被災者の方々と知恵を共有できる場を増やしたい」と話した。